

# BUSINESS REPORT 2020

第117期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年9月30日をもちまして、第117期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに中間報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

さて、この半期を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の影響により世界各国においてロックダウンが実施され、世界経済は一時休止状態となっています。当初は気温の上昇とともに落ち着くであろうとの予測もございましたが、第3波が押し寄せる兆候があるなど、一向に収束の兆しが見えない状況です。この結果、当社グループにおいても、各地域において大きな影響を受けることとなりました。欧州では再度のロックダウンとなり、新型コロナウイルスの影響は今後も続いていくとみられます。

このような状況の中、将来へ向けた投資の継続を行うため、当第2四半期連結累計期間は無配とさせて頂きました。

当社グループは「企業体質の強化や将来の事業展開に備えるため内部留保の充実等を勘案しつつ、株主に対する安定的な配当を継続する」方針であり、かつ、ここ数年は増配傾向でございましたが、無配となりましたこと、株主の皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

落合 久男

# 営業活動の成果

## 当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、第1四半期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により一部経済活動の自粛が行われ、対前年度マイナス成長が続いております。

一方、海外経済は、米中貿易摩擦等の不安定な情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、いまだ収束期を予測することが困難な状況です。

当社グループの主要市場でありますトラック市場におきましては、新型コロナウイルス感染症による景気後退期から中国では回復期に入ったものの、日本やタイ、インドネシア等のアジアでは依然として需要の先行きは不透明な状況と認識しております。

また、産業・建設機械市場におきましては、中国を除く海外での需要が低下している状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）の売上高は、需要減少に伴う各国での生産調整による操業停止や減産等の影響により、前年同四半期に比べ大幅な減少となりました。

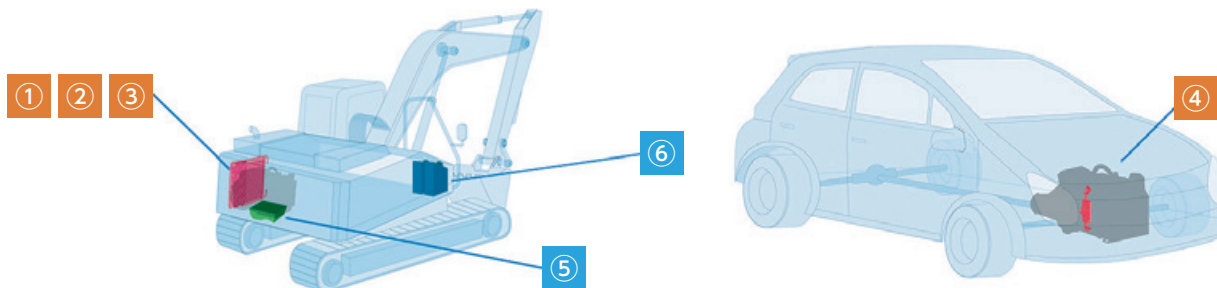
この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、108億52百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

利益面におきましては、原価低減活動や徹底した費用抑制に努めたものの、売上減少による限界利益の減少、藤沢工場における中・長期的な設備新鋭化に係る費用、当社における繰延税金資産の回収可能性の見直しによる法人税等調整額の計上等により、営業損失は4億69百万円（前年同期は営業利益3億22百万円）、経常損失は3億28百万円（前年同期は経常利益3億90百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億59百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億15百万円）となりました。

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
2021年3月期第2四半期	10,852	△26.2	△469	—	△328	—	△559	—
2020年3月期第2四半期	14,707	△1.0	322	△44.4	390	△40.0	215	△53.3

## 製品情報

産業用建設機械向けと乗用車向けには下図のように、大きく分けて「熱交換器」と「車体製品」のラインナップがあります。乗用車向けには現在はEGRクーラーがメインですが、採用車種も徐々に増加しており、今後も売上への寄与が期待される商品です。



### 熱交換器

①ラジエーター

②インタークーラー

③オイルクーラー

④EGRクーラー

### 車体部品

⑤オイルパン

⑥SCRタンク

汎用品はなく、車種専用設計の完全受注生産となっております。

お客様の構想段階から深く携わっており、設計はもちろん、実験解析、製造といったプロセスを全て自社及び関連会社で行っており、一定の評価・信頼を得て採用されております。

## ～新型コロナウイルス感染症の当期への影響について～

当社グループは右図のとおり、日本に2拠点、中国に2拠点、タイに1拠点、インドネシアに1拠点ございます。



新型コロナウイルス感染症による直接的な影響は下図のような想定をしております。

なお、当社グループ製品はアジア地区向けだけでなく、欧米諸国向けもあり、諸外国の影響も受けます。

日本

・長期に亘る休業等はないものの想定以上にトラック、産業・建設機械市場の冷え込みがあります。徐々に回復傾向にあるものの、年間においては売上減少を見込んでおります。

中国

・4月以降は完全に稼働を再開しておりますが、第1四半期の大幅減少を補えず、年間においては売上減少を見込んでおります。（※中国拠点は12月決算となっております、第1四半期は1～3月です）

アジア

・客先の工場の長期に亘る稼働停止の影響により、年間においては売上減少を見込んでおります。

現時点での通期の連結予想は下記のとおりであります。

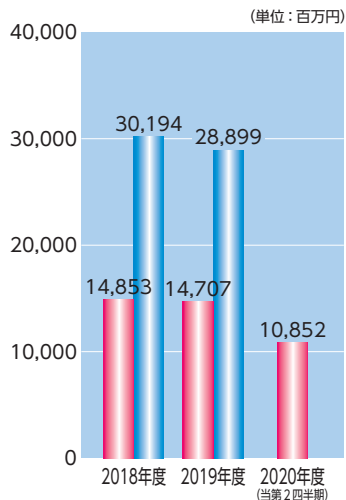
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期	百万円	百万円	百万円	百万円
	25,000	△1,100	△900	△1,100

新型コロナウイルス感染症による影響は今後も続いていくと思われませんが、当社グループはこれを機会と捉え、これまで以上のスピード感とスケールで社内改革を進めていき、筋肉質な体力のある企業を目指してまいります。

# 連結財務ハイライト

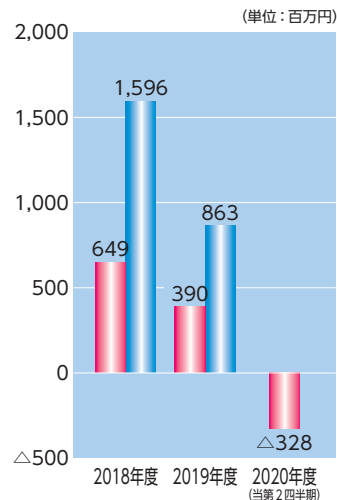
## 売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



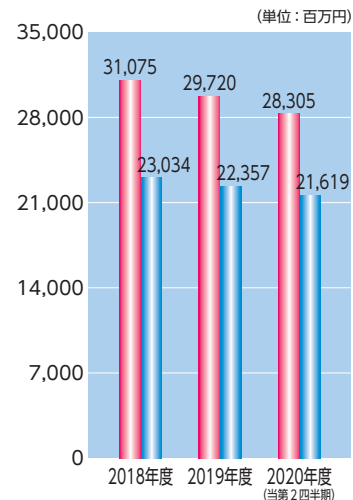
## 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期



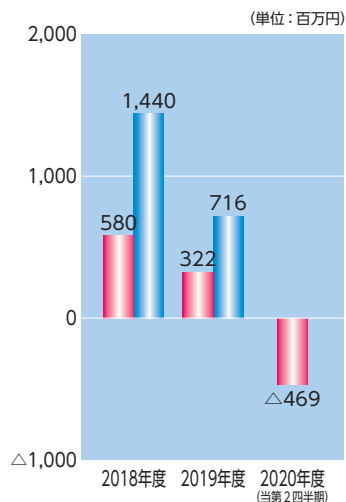
## 総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産



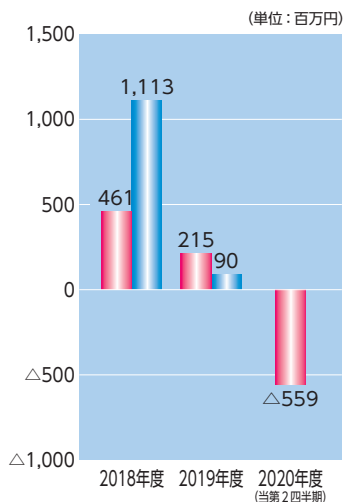
## 営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期



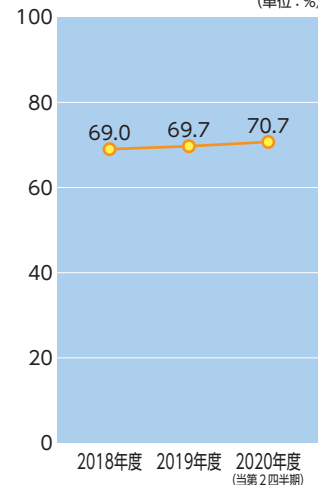
## 親会社株主に帰属する四半期純利益

■ 第2四半期 ■ 通期



## 自己資本比率

(単位: %)



# 会社・株式情報

## 会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 東京ラヂエーター製造株式会社  
 英文社名 TOKYO RADIATOR MFG. CO., LTD.  
 設立 1938年10月15日  
 資本金 13億1,760万円  
 事業所 本社・藤沢工場  
 〒252-0816  
 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1  
 TEL 0466-87-1231 (代表)  
 営業品目 (熱交換器)  
 ラジエーター、オイルクーラー、インタークーラー、  
 EGRクーラー 他  
 (車体部品)  
 燃料タンク、SCRタンク、オイルパン、パキューム  
 タンク 他  
 連結子会社 株式会社トーシンテクノ  
 無錫塔爾基熱交換器科技有限公司  
 重慶東京散热器有限公司  
 PT. TOKYO RADIATOR SELAMAT SEMPURNA  
 TR Asia Co.,LTD.



本社・藤沢工場

## 役員 (2020年9月30日現在)

取締役	代表取締役	社長	林落五	合	隆	司
取締役	取締役	社長	十	嵐	久	男
取締役	取締役	社長	田	口	敦	志
取締役	取締役	社長	高	村	洋	一
取締役	取締役	社長	田	中	藤	寿
取締役	取締役	社長	松	元	良	晃
取締役	取締役	社長	伊	藤	隆	一
取締役	取締役	社長	霞	末	陽	治
取締役	取締役	社長				介

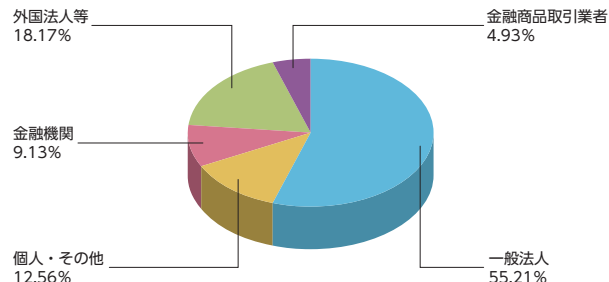
## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 …………… 43,200,000株
- ◆ 発行済株式の総数 …………… 14,400,000株
- ◆ 1単元の株式数…………… 100株
- ◆ 株主総数 …………… 1,207名
- ◆ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マレリ株式会社	5,770	40.10
MSIP CLIENT SECURITIES	715	4.98
いすゞ自動車株式会社	675	4.69
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	607	4.22
立花証券株式会社	602	4.19
山崎金属産業株式会社	525	3.65
佐藤商事株式会社	501	3.48
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	425	2.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	341	2.37
株式会社みずほ銀行	300	2.09

(注) 持株比率は自己株式(12,083株)を控除して計算しております。

## 株式の分布状況 (所有者別株式比率)



## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
	なお、中間配当を実施するときの株主確定日は 9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告します。
公告掲載URL	<a href="http://www.tokyo-radiator.co.jp/">http://www.tokyo-radiator.co.jp/</a>

## ホームページについてのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとした  
様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.tokyo-radiator.co.jp/>

**TRS 東京ラジエーター製造株式会社**

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1  
TEL 0466-87-1231 (代表)

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

